

第5回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

- ・日 時：2025年（令和7年）12月22日（月）18：30～
- ・場 所：まなびの館ローズコム4階 中会議室
- ・出席者：以下の通り

	所 属	役 職	名 前
1	広島大学	教授	田中 貴宏
2	呉工業高等専門学校	教授	神田 佑亮
3	福山市農業委員会	会長職務代理	岡本 卓也
4	福山商工会議所	専務理事	後藤 学
5	福山市商工会連絡協議会	事務局長	藤城 敏雄 (代理出席)
6	社会法人広島県宅地建物 取引業協会福山支部	福山支部長	浅利 清
7	福山市自治会連合会	常任理事	大畠 功之
8	市民委員		土居 稔弘
9	市民委員		森山 恵
10	国土交通省中国地方整備局 福山河川国道事務所	調査設計課長	今井 宏 (代理出席)
11	広島県東部建設事務所	次長	山口 純
12	福山市建設局	局長	市川 清登

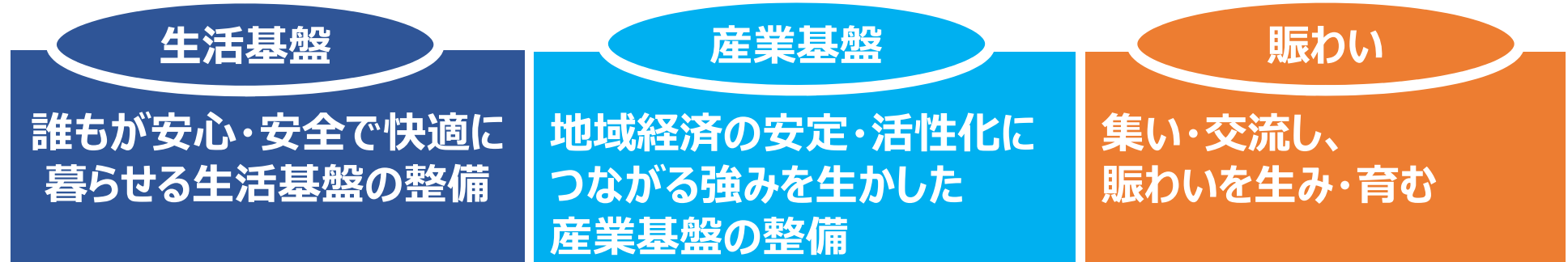
第5回検討委員会の様子



議 題

○都市づくりの基本理念（案）

検討委員会ワークショップ等の意見を踏まえ、20年後の福山市を見据えた都市づくりの理念（ビジョン）を検討



都市づくりの基本理念（案）

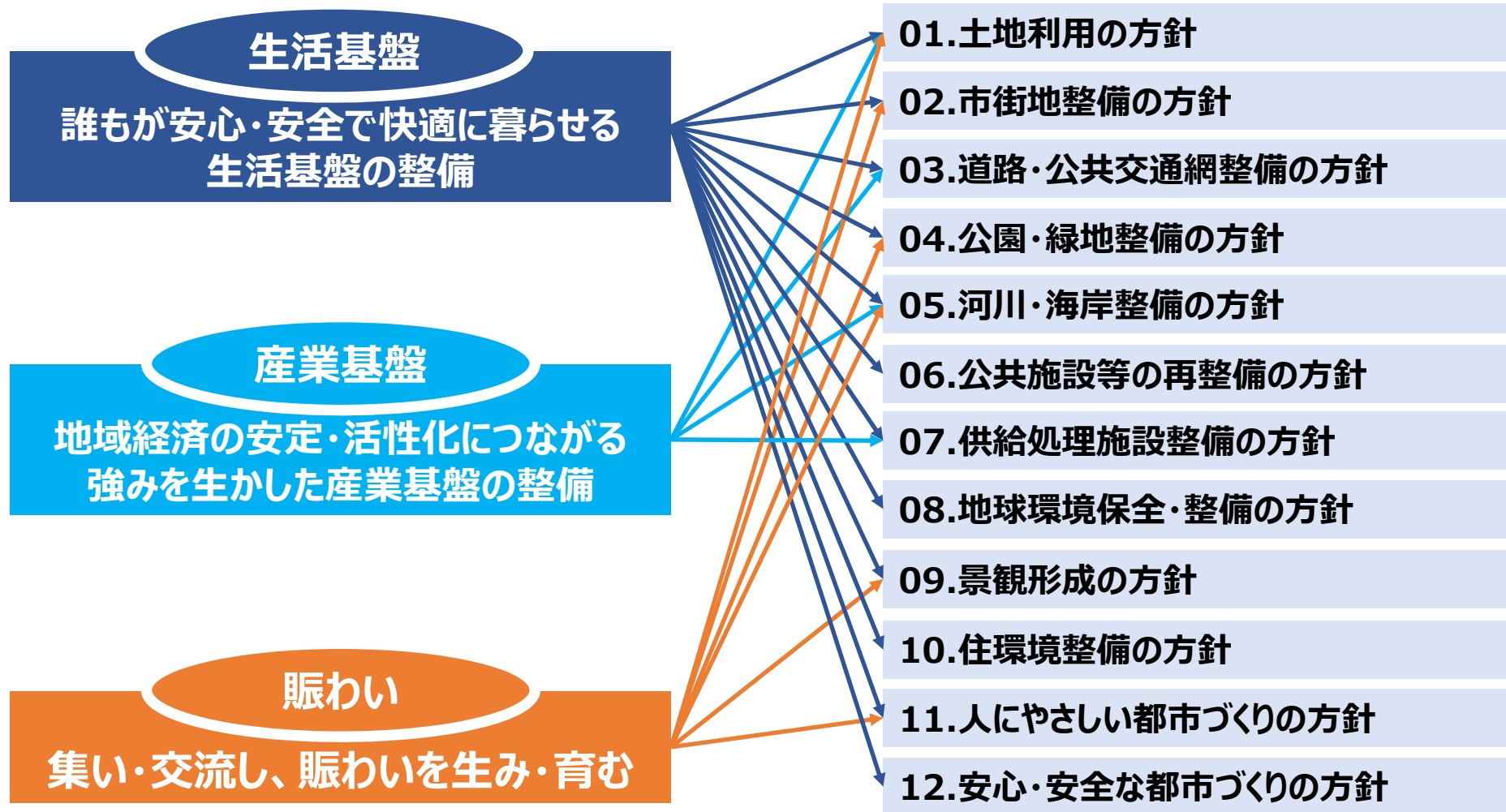
暮らしに安心、地域経済に活力、街に賑わい、強みを生かした未来につなげる都市づくり

暮らしの基本となる安心・安全を確保し、豊かな自然を守りながら、基幹産業を中心とした本市の強みを磨き上げることで、福山市に住み、働き、新たに訪れるすべての人々が、これからも便利で快適に暮らしていけるとともに、人々が集い、繋がり、賑わいにあふれた活力と魅力のある未来につなげる都市をめざします。

議題 都市整備の基本方針（案）

・都市づくりの基本理念を実現するため、実施すべき12の都市整備の基本方針を検討

第5章 都市整備の基本方針



議題 地域別の都市整備の基本方針（素案）

・ 都市整備の基本方針を踏まえ、各地域の主な課題に対して、今後20年でどの様な都市整備を行うべきか素案を提示

中央地域

めざす姿（案）
○福山駅周辺を中心として中国・四国地方の拠点都市にふさわしい拠点性と求心力を備えた中心市街地と快適・利便性に優れた居住環境の整ったまちづくり

生活基盤 産業基盤 賑わい

【都市整備の課題】（都心核）
・新しいライフスタイルを実現する環境整備
・ウォーカブルなまちづくり

02.市街地整備の方針
・まちなか居住の促進
・広域的でより高次の都市機能の誘導
・移動しやすい歩行空間の整備
・歴史や癒しを感じる景観形成（福山城）

生活基盤 産業基盤 賑わい

【道路の課題】
・物流の効率化（企業の生産性向上）
・日常生活の利便性向上（渋滞解消）
・大規模災害のリスクアンダー（多重性）確保

03.道路・公共交通網整備の方針
・放射・環状型の道路網の整備

生活基盤 産業基盤 賑わい

【公共交通の課題】
・持続可能で多様な公共交通サービスの構築

03.道路・公共交通網整備の方針
・利便性の高い公共交通ネットワークの形成
・アクセシビリティの強化や施設のバリアフリー化
・公共交通の利用促進

東部地域

めざす姿（案）
○JFEスチール株のペタウンとして同時期に居住が始まった地域であり高齢化が進んでいるため、子育て世代から高齢世代まで、多世代の居住を目指し、森山、大谷台などの大規模住宅団地の既存ストックを活かしたまちづくり

生活基盤 産業基盤 賑わい

【大規模住宅団地の課題】
・地域全体の活力の向上

02.市街地整備の方針
・多様な世代循環を促す住宅団地の再生
・都市機能の誘導
・住宅団地内の移動手段の確保

生活基盤 産業基盤 賑わい

【道路の課題】
・物流の効率化（企業の生産性向上）
・日常生活の利便性向上（渋滞解消）
・大規模災害のリスクアンダー（多重性）確保

03.道路・公共交通網整備の方針
・放射・環状型の道路網の整備

生活基盤 産業基盤 賑わい

【公園・緑地の課題】
・生活の質を高める都市基盤（公園）の活用

04.公園・緑地整備の方針
・公園の改修や施設の充実
・誰もが安心して利用できる公園整備
・官民連携などによる公園の利活用

西部地域

めざす姿（案）
○学園地域と港湾機能、交通拠点機能を生かした産業拠点が融合し、幹線道路や松永駅の周辺で学生や外国人など様々な市民が居住するとともに、尾道市東部と一体的な発展をめざすまちづくり

生活基盤 産業基盤 賑わい

【土地利用の課題】
・農業者の高齢化等による後継者不足の解消
・耕作放棄地の対応

01.土地利用の方針
・農地の集約化
・経営力のある担い手の誘致
・収益性のある園芸作物や施設栽培

生活基盤 産業基盤 賑わい

【都市整備の課題】（地域交流拠点）
・鉄道とその他の公共交通の交通結節機能強化
・日常生活に必要なサービスや交流の場の創出

02.市街地整備の方針
・都市機能の誘導（松永駅周辺）
・施設の利活用、多様な主体との連携（松永駅周辺）
・良好な居住環境の創出
・空き地・空き家の有効利用

生活基盤 産業基盤 賑わい

【公園・緑地の課題】
・生活の質を高める都市基盤（公園）の活用

04.公園・緑地整備の方針
・誰もが安心して利用できる公園整備

生活基盤 産業基盤 賑わい

【海岸の課題】
・国際物流を支える港湾機能の強化

05.河川・海岸整備の方針
・産業振興に資する港湾施設整備

南部地域

めざす姿（案）
○瀬戸内の豊かな自然環境、瀬の浦や仙島、内海などの歴史・文化やレジャー施設等の観光資源を生かした観光交流機能の更なる強化を目指し、交流人口の増加を図り、山間部や島しょ部の既存集落地を支えるまちづくり

生活基盤 産業基盤 賑わい

【土地利用の課題】
・農業者の高齢化等による後継者不足の解消
・耕作放棄地の対応

01.土地利用の方針
・農地の集約化
・経営力のある担い手の誘致
・収益性のある園芸作物や施設栽培

生活基盤 産業基盤 賑わい

【景観形成の課題】
・豊かな自然環境や歴史・文化資源の保存活用によるさらなる地域の魅力向上

08.景観形成の方針
・自然景観の形成（瀬戸内海国立公園）
・歴史的景観の形成（瀬の浦・阿伏見観音）

生活基盤 産業基盤 賑わい

【観光振興の課題】
・交流人口の増加や地域経済の活性化

00.地域拠点整備の方針
・地域住民との連携（アリストぬまぐま、内海）
・地域資源の活用（アリストぬまぐま、内海）

北部地域

めざす姿（案）
○繊維産業などの地場産業や福山北産業団地などへの産業集積を生かし、ものづくりのまちとしての魅力を高めるとともに、良好な居住環境の創出を目指したまちづくり
○山形野や蛇川、富谷公園など恵まれた自然環境を守り、既存の集落地を支えるまちづくり

生活基盤 産業基盤 賑わい

【公園・緑地の課題】
・生活の質を高める都市基盤（公園や緑地、水辺空間などの公共空間）を活用

04.公園・緑地整備の方針
・官民連携などによる公園の利活用（駅公園）

05.河川・海岸整備の方針
・かわまち広場などの親水空間の整備（新市かわまち）

生活基盤 産業基盤 賑わい

【都市整備の課題】（地域交流拠点）
・鉄道とその他の公共交通の交通結節機能強化
・日常生活に必要なサービスや交流の場の創出

02.市街地整備の方針
・鉄道駅周辺のアクセシビリティ強化
・都市機能の誘導
・良好な居住環境の創出
・空き地・空き家の有効利用

生活基盤 産業基盤 賑わい

【道路の課題】
・日常生活の利便性向上（渋滞解消）

03.道路・公共交通網整備の方針
・放射・環状型の道路網の整備
・市街地を形成する都市計画道路の整備

北東地域

めざす姿（案）
○堂々川などの豊かな自然と神辺本陣などの歴史や文化の魅力を活かす、神辺駅周辺の新たな土地利用や交通結節機能の強化を図り、地域の更なる人口増加を目指すとともに、岡山県井原地域との交通機能を強化して、道土（ツジノ川周辺）・海野と一体的な発展をめざすまちづくり

生活基盤 産業基盤 賑わい

【土地利用の課題】
・土地区画整理事業などによる住環境基盤の整備
・都市機能の集積や公共交通がある特性を活かした利便性が高く暮らしやすい居住環境の形成
・既存産業団地や交通利便性の高いエリアでの産業用地の確保
・土地の弾力的な活用による産業用地の確保

01.土地利用の方針
・利便性の高い拠点の形成
・日常生活に必要なサービスや交流の場の創出
・企業の投資の受け皿となる産業用地の確保

生活基盤 産業基盤 賑わい

【都市整備の課題】（地域交流拠点・地区生活拠点）
・鉄道とその他の公共交通の交通結節機能強化
・日常生活に必要なサービスや交流の場の創出

02.市街地整備の方針
・鉄道駅周辺のアクセシビリティ強化
・都市機能の誘導
・良好な居住環境の創出
・空き地・空き家の有効利用

生活基盤 産業基盤 賑わい

【景観形成の課題】
・豊かな自然環境や歴史・文化資源の保存活用によるさらなる地域の魅力向上

08.景観形成の方針
・自然景観の形成（堂々川公園・吉野山公園）
・歴史的景観の形成（神辺本陣など）

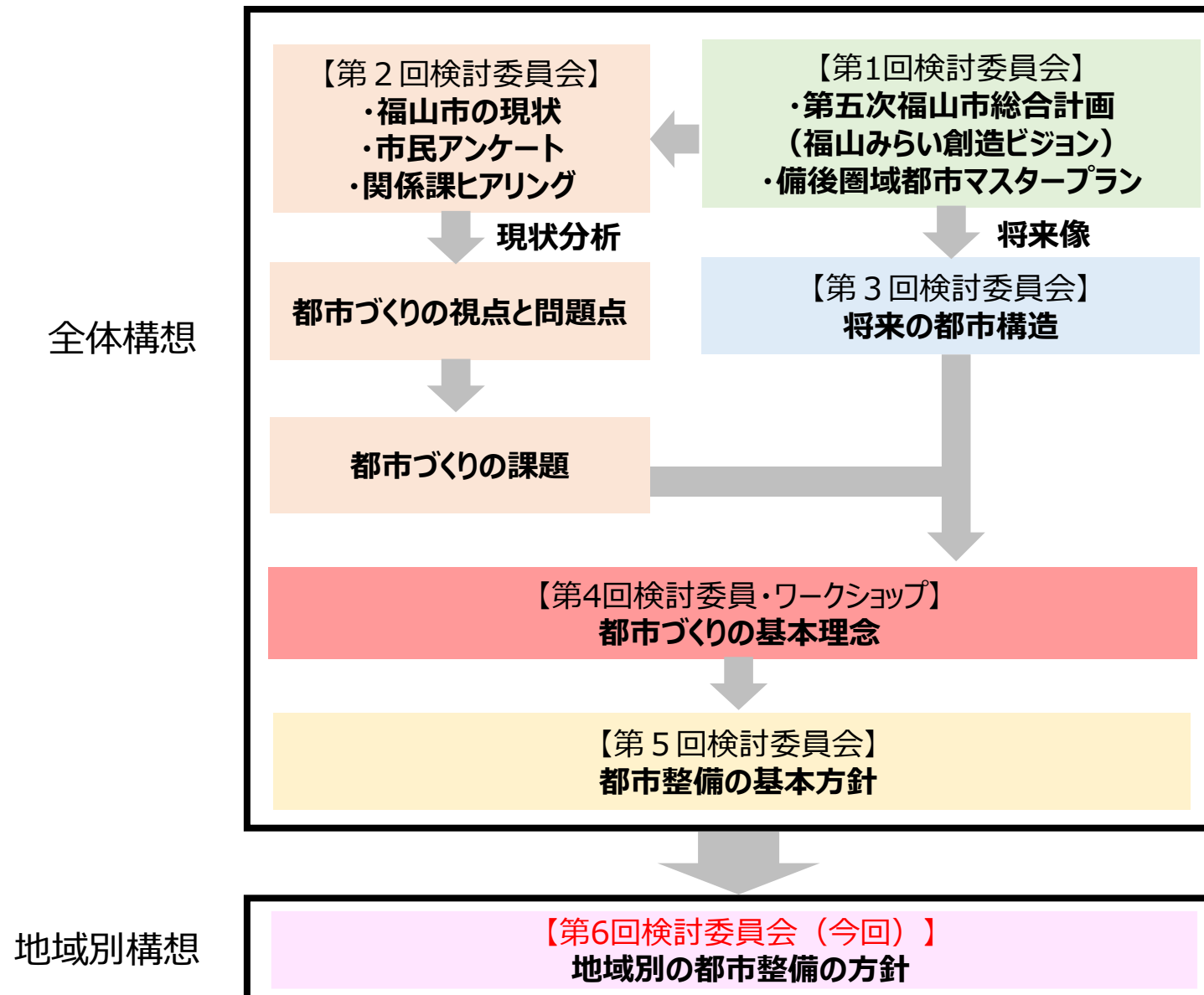
フィードバック（都市整備の基本方針）

主な意見		対応内容
①	02.市街地整備の方針で、「若者や子育て世代、女性などの多様な人々」と書いてあるが、例えば、人々を惹きつけるということであれば、 観光客や外国人の視点 も必要なのではないかと思う。	P.45 「多様な人々」の記載の中に、観光客や外国人の視点も含めて記載しています。
②	04.公園・緑地整備の方針で、暑熱対策として、 公園を通年で使えるように遊具の上に屋根を付ける などの整備を記載した方がよいと思う。	P.52 ■公園の改修や施設の充実に「日陰施設の整備」を記載
③	05.河川・海岸整備の方針で、海岸と港湾では住み分けがあるので、「 河川・海岸・港湾整備の方針 」の方がよいのではないか。	P.53 「05.河川・海岸・港湾整備の方針」に変更
④	06.供給処理施設整備の方針で、安全安心な市民生活を守る必要な施策であると思うので、建物だけでなく 設備の老朽化対策に対する表現 も必要かと思う。	P.56 ①上下水道施設に「適正な維持管理による施設の長寿命化」等を記載
⑤	07.地球環境保全・整備の方針で、脱炭素型のまちづくりという視点で太陽光パネルの写真を使用するのであれば、近年のメガソーラーの規制の動きもあるため、 メガソーラーなどが想定されない写真 を使うべき。	P.61 写真を差し替え（深津交流館）
⑥	09.住環境整備の方針で、「 空き家等の既存ストックを活用した居住環境の整備 」という表現は、空き家が居住環境の整備を妨げているように思ってしまうので、表現を検討するべきではないか。	P.64 ■空き家対策に「空き家の有効活用によるエリア価値の向上」を記載

フィードバック（都市整備の基本方針）

主な意見		対応内容
⑦	ワークショップでの意見にもあったと思うので、暑さ対策や気候変動対策についての要素として、環境への緩和や適応の考え方をもう少し整備方針の中に盛り込んでいくべきだと思う。	P.52 ■ 環境保全の推進に「気候変動などへの対応や、都市の暑熱対策」等を記載
⑧	都市整備の基本方針はかなり複合的な要素が絡んでいると思う。福山市の人口流出の原因を考慮しながら、方針を定めていく必要があると思う。	P.14 課題として人口減少の状況を分析
⑨	福山市は鉄道のポテンシャルを活かせていない状況にある。駅周辺に自転車や車を駐車して鉄道に乗り換え、パークアンドライドをできるようにするなど、駅周辺を使い勝手のいい状態にする必要があると思う。	P.50 ③公共交通網に「パーク&ライドの推進」を記載
⑩	20年後のめざす姿は、今の子どもたちが大人になった時の都市の姿なので、こどもの考え方や価値観を取り入れたものであるべきではないか。	対応について検討中
⑪	企画政策部局において、有識者を交えて福山市の特性に合った人口減少対策の検討を進めている。その検討の進展を見据えながら、都市計画で取り組むべきことを都市マスに記載していただきたい。	P.42他 人口減少対策として土地利用ほかの方針を記載

○次期福山市都市マスタープラン策定に向けた全体の流れ



○次期福山市都市マスタープラン策定に向けた今後の流れ

【第6回検討委員会（今回）】本日

・第6章 地域別の特性・現状・都市づくりの将来像（素案）を検討

【第7回検討委員会】2026年（令和8年）4月下旬

第6章 地域別の都市づくりの将来像を検討

地域別の都市整備の方針（素案）を検討

第7章 今後の都市づくりの推進（素案）を検討

【第8回検討委員会】2026年（令和8年）5月下旬

第6章 地域別の都市整備の方針を検討

第7章 今後の都市づくりの推進を検討

パブリックコメント実施内容の報告

パブリックコメント

【第9回検討委員会】2026年（令和8年）8月下旬

パブリックコメント結果の報告・反映内容

福山市都市マスタープラン改定 2026年（令和8年）9月下旬